

バリアフリーペンション
まっいだ
森の家通信

No25 2018.4.30
NPO法人まっいだ森の家
〒379-0211
安中市松井田町上増田670
TEL/FAX027-393-0655



色々ありました。
でも、可能なかぎり、前へ

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| P 1 表紙：花の春 | P 4 根岸 退任あいさつ |
| P 2 新規事業取り止めの
報告とお詫び | P 5 女将「これから…」 |
| P 3 赤い羽根共同募金の
結果報告とお詫び | P 6 こんなお客様がいらっしゃいました |
| | P 7 会員ページ |
| | P 8 裏表紙：新理事長よろしく |

皆様にお知らせしていましたが新規事業の
立ち上げを中止することになりました。

2018年3月5日

まついだ森の家の新規事業立ち上げをご支援くださった皆様へ

NPO法人まついだ森の家役員一同

今春4月の開所を目指し昨年来準備を進めて参りました、障
害福祉サービス事業所「さぽーと森の家」の立ち上げを、この
度、断念する決定をいたしました。

結果的に、現在の森の家には新事業を立ち上げ、軌道に乗せ
るだけの力量や財政力がなかったということに尽きます。

この訪問介護事業所の立ち上げにおいては、沢山の皆様のご
協力やご声援をいただき、楽しみにもしていただいております
た。ご期待に添うことが出来ず、誠に、残念であり、申し訳な
く、この紙面を借りて、心よりお詫び申し上げます。

なお、宿泊業務につきましては、可能な限り存続の努力を続
けて参りますので、引き続き変わらぬご支援、ご利用をお願い
申し上げます。

「赤い羽根選べる募金」を通じて
森の家の新規事業を応援して下さった皆様へ

エントリーの大きな柱であった新規事業の中止をこの時点
でお知りになり遺憾に思われた方もおいでのことと存じます。
募金のシステム上、森の家側からはお一人お一人に直接お詫
びやご説明をすることができませんでしたのでお許しください
い。（HP、FBにて公表）

「つかいみち選べる赤い羽根募金」の募金結果ご報告

808,724円（3月末締め切り分）

目標額80万円を達成し、その他に、募金箱（5か所）分及
び森の家に直接入金された分を合わせると、一昨年並みの90
万円程度の額になる予定です。

新規事業応援のご寄付の割合がどの程度であったかは不明
ですが、それを含めて、森の家を支援して下さる方々がこ
れほどいてくださったことに改めて感謝いたします。

頂いたご寄付は、今後も可能な限り続けていくバリアフ
リーペンションの運営と、心安らぐ居場所の提供の存続等に、
大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

募金箱ご協力

- ・障害福祉サービス事業所「かんなの里」様
- ・農産物直売所「野尻の里」様 ・狩野洋子様
- ・万工房「陽だまり」様 ・「すずCafé」様

二年間、ありがとうございました

根岸 章浩

3月末で森の家を退職することになりましたが、これまでご縁があった皆様に心よりお礼申し上げます。

元々サラリーマンからの転職で当初は接客も戸惑いが多かったのですが、根岸さん、また来るからねとか、頑張っね等の言葉に励まされてきました。

また、共に現場を担ってきたスタッフはもとより、森の家の存続を常に考える理事の方々、通信の編集ボランティア、おいで祭り等のイベントや森の家周辺整備に参集して下さるボランティアさん等の仲間たちがいたからこそ、私を含めこの森の家が成り立っていたと思います。森の家での出会いは私の人生における宝物です。

森の家の経営は、宿泊事業だけでは成り立たない収支状況でありながら、森の家を必要としている人たちがまだまだたくさんいること、そしてそれを支えてくれる方々もたくさんいることで成り立っているのだと改めて認識しています。近年バリアフリー対応の宿泊施設は増えていますが、障害者が自分の家のように気兼ねなく過ごせる宿は、この森の家以外にはないのではないかと思います。

マネージャーとして過ごした中で、森の家は皆の居場所であり交流の場であり、必要とされている場所だと実感し続けていました。

私自身は森の家で働くことはできなくなりましたが、今後も森の家が少しでも長く存続しますよう、皆様と共に、私も応援していきます。森の家をどうぞよろしくお願いいたします。



この一年、そしてこれから・・・

すみっこ女将

森の家の究極の課題。一つは後継者。そしてもう一つは後継者をキープし続ける運営資金年間約100万円とリニューアル資金約500万円。

その困難さが鮮明になった昨年。店じまいも已む無しと思い定めた経緯もありました。新規事業立ち上げの事情の中には、ペンションとしての存続は不可能でも、障害のあるなしを問わないみんなの居場所、交流の場として生き残りたいという、切羽つまった思いがあったのも事実です。

元々不採算の事業。何度も危機がありました。設立当初の34人の方による5,100万円の出資、NPO法人化して300名近くの会員獲得、赤い羽根選べる募金の想定外の寄付額、個人のご寄付と会員集めとに助けられた年、調理人不在に駆けつけてくれた仲間、イベントや集客に注力した理事たち等々、様々な小さな奇跡で乗り越えてきましたが、今回は・・・

新規事業の立ち上げも、良き後継者の雇用継続もできなかった森の家は、またふり出しに戻りました。今後、ペンションは可能な限り続けていきますとしか言えない中で、危機を知った方から、人と資金の支援の具体的お申し出があり、前向きに検討しています。これをベースに課題を乗り越える力を結集できるか・・・楽観はできません。

会員の皆様の会費は森の家を支える貴重な収入源です。それと共に、森の家が、他にない、社会的に有用な場だと認識して下さる皆様とのつながりを実感する大切な形です。今年も会費によるご支援をよろしくお願いいたします。又、森の家の状況に対する有益な情報提供やご提案もお寄せいただければ幸いです。

みんなお客様が
いらしました

こばちゃん インタビュー

本名：小畑守さん
グループホーム利用者さん
で、現在は箕郷の「はるな
ベーカリー」で仕事してい
ます。



森の家では、他のお客様やス
タッフ・ボランティアさんとの
会話も楽しみ。朝は散歩、
夜はビールがお約束。文字や
数字は苦手ですが、上毛新聞
(の写真)を愛読。
ニュースに詳しいこばちゃん
です。

今年も行くかなー、い
いとご連絡してくれ
な。〇〇は、あんまり
よくないぜー、新しいと
こがいいな。

当日まで何度も電話あり。
お財布は森の家にお任せ。
お出かけプランもお任せ。

以前、お正月の予約が取れ
ず来なかったことがあっ
た時には、猛烈抗議！

二度とそーゆーことが無
いようにしてもらいて一
な、おれ頭いたくなっ
ちゃったよー。

年3回（GW、お盆、年
越）3泊ずつ、10年以上
にわたるご常連です。

森の家がなくなるんは困っ
ちゃうんべー。長くやって
もらいて一な。

会費&寄付入金者 お名前 (2017.10.15~2018.3.31)

正会員

敬称略 順不同

佐藤 貴雄 堀越 美妃

賛助会員

島村 敦子 関 智江美 高柳 茂子・昭男 岡島 春枝・佳樹 志村
加代子 石田 実可子 石渡 正敏 小久保 雅子 下里 沙羅 杉山
すみ代 多田 貴枝子 原間 啓史 藤岡 春樹 安川 江美 渡辺
佳奈実 渡辺 聖 下和佐 紀一 山本 幸男 山本 佳穂 納富 沙織
柳澤 きく江 石井 昭子 南部 康光 天田 文子 織茂 加代子 三
宅 捷太 北村 三恵子 富山 洋子 松尾 浩子 春木 貫志 藤尾 孝
枝 藤尾 正明 長澤 せつ子 寺島 伸二 小林 和夫 南 順子 今
井 悦子 小暮 栄子 郷原 光子 谷川 弥 黛 栄子 横山 節子 中
嶋 朗 加藤 聖午 片山 克司 広沢 里枝子 小坂橋 一恵 田嶋 秀
記 市村 八千代 上杉 洋子 藤野 美枝子 中林 文子 萩原 隆
萩原 巖 岩井 香楠子 松本 立家 岩鼻 愛里 中村 倫子 中嶋 晃
彦 潮 晴美 古川 佐喜子 小宮 清 匿名希望

寄付・助成

金子 由紀子 瀧澤 久美子 佐藤 かほる 山崎 勝美 横山 節子
福田 晋児・典子 佐藤 かほる オカリーズ 澤崎 美津子 川幡
のり花 辻川 恵子 村上 絢音 高尾 寛之 島野 健太郎
草のひかり福祉会 高崎イオン (黄色いレシートキャンペーン)

法人・団体会員

(株)環境システムズ

(有)ヒューマンインテグリティ

(福)トモロの森

(株)ひねもす

(福)かんなの里

ボランティア

ピザ作り・楽焼窯製作(星野) 草刈(進藤・石橋) ランチ遊膳(三
木) バザー(佐藤かほる) 通信編集(多胡) おいで祭り(たくさ
んの皆様)

物品寄付

りんご・みかん・野菜・ハーブ苗・手作りジャム・ソルト カリン・餅 他

変わらぬご支援を心より感謝いたします。



木下美幸

設立以来の横浜の支援者
今年度理事長に

ホームページ 「まついだ森の家」で検索
<http://www.normanet.ne.jp/^morinoie/>

Facebook H・Pからご覧いただけます
<https://www.facebook.com/kimizutsuchi>

メールアドレス ご意見お待ちしております
matsuida-morinoie-2007-npo@amber.plala.or.jp